

応募から実施までの流れ

1 チーム結成 (1チーム2名~6名まで)

リーダーだけやる気では始まりません。応募するメンバーみんなのチームワークが必要です。

2 企画立案

日本文化に関するものであれば内容は自由。要点は「交流」ができるかどうか。カウンターパート(現地の中国人大学生など)と共同制作し、現地の参加者が楽しめる企画を待っています!

現地滞在日程は、準備も含め最長1週間程度。

開催希望地については、心連心ウェブサイト「ふれあいの場事業」ページ記載の「ふれあいの場」より選んでください。 <http://www.chinacenter.jp/japanese/fureai/>
※ただし、開催地の最終決定は、現地との調整の上、基金側が行います。

WEBで応募 (応募締切: 2014年11月18日(火)午前 9:30)

<第1次選考>

心連心ウェブサイト上の応募フォームに、必要事項を記入の上、応募締切日時までに送信してください。

※合格したチームへは、2014年11月21日(金)までに基金よりご連絡します。

<第2次選考>

メンバー全員で、企画内容についてのプレゼンテーションをしていただきます。

※合格したチームへは、2014年12月12日(金)までに基金よりご連絡します。

4 準備

イベント実施までの約3ヶ月間、カウンターパートと連絡調整を行いながら、企画内容や現地日程を完成させ、実施に向けての準備を行います。

5 渡航、イベント実施 (2015年3月)

現地入り後、短い準備期間で(通常2~3日間)、いかにカウンターパートと役割分担をスムーズに行いながら準備ができるかが成功の鍵です。事前に連絡を取り合ってきたカウンターパートと一体となって、イベントを現地で盛り上げてください。渡航期間は1週間程度を予定。

※帰国後、イベントを振り返った報告書の作成や帰国報告会を実施していただきます。

応募いただいた企画は、以下のポイントで審査をします!

Check Point

1 自由な発想でゼロからの企画

現地でのスケジュールを含め、みなさんならでは企画かどうか。「文化紹介」ではなく、参加・体験型で、参加者来場者ともに楽しめるかどうか。

2 カウンターパートとの共同作業

準備から実施までの作業が一方的ではなく、共同作業となっているか。交流の要素が含まれているか。

3 継続性のある交流

一方的な文化紹介ではなく、交流が目的のため、イベント終了後もカウンターパートや来場者等との交流が続くよう工夫されているか。

<過去の事業例>

茶道、月見団子、流しそうめん、おにぎり、和菓子、手巻き寿司、焼きそば、チョコバナナ、お餅、マンガ料理、伝統料理、日中合作料理、節分(豆まき)、雛祭り(ちらし寿司)、こどもの日(菖蒲湯で足湯)、七夕祭り、シーサー作り、剣玉、花札、折り紙、寄せ書きアート、着付け&写真撮影、楽器体験、写真水族館、コスプレ、縁日(射的、ヨーヨー釣り)、ふるさとの踊り(しゃんしゃん踊り、すずめ踊り、さんざ踊り等)、ソーラン節、灯るうづくり、竹炭ペンダントづくり、お守りづくり、ハチマキづくり、凧作りと凧揚げ、ふるさとの紹介、太極拳を習う、切り絵体験、ホームステイ、百人一首、かるた大会、高校訪問、大学寮体験、座談会、名所旧跡の事前学習&訪問 など内容いろいろ! 自由な発想で楽しい企画を創ってください!

詳しい募集要項については、心連心ウェブサイトの「大学生交流事業」ページをご覧ください。

<http://www.chinacenter.jp/japanese/network/college/>

過去のイベントも紹介しています。



F A Q ?

1. 参加対象者・渡航日程について

Q 日本国籍を所持していないのですが、応募できますか?

A 日本の大学等に所属していれば、国籍は問いません。過去には、日本の大学に留学している中国の学生も参加しています。

Q チームの人数は何人でも良いですか?

A 2名から6名以内です。ただし明確な役割のないメンバーが発生しないように留意してください。

Q メンバーは同じ学校の学生に限りますか?

A いいえ。他校の学生で集まり、チームを結成してもかまいません。

Q 中国語が出来ないのですが参加可能ですか?

A 中国語のレベルは問いません。カウンターパートは、主に現地で日本語を学んでいる学生なので、日本語でのコミュニケーションが可能です。積極的、意欲的に交流してくれる方を歓迎します。

Q 渡航日程は決まっていますか?

A 採用になったチーム、及び中国での受入れ先のスケジュールを考慮して、渡航日程を決定します。現地では、大体1週間の日程で、準備(2~3日間)と交流イベント(1~2日間)等を行います。

2. 参加費用について

Q 参加費用は必要ですか?

A 基本的には不要です。基金が参加者の旅費(航空券、宿泊費、交通費等)、イベントに必要な備品の購入費用を負担します。ただし、参加者には、個人の経費(中国滞在中の食費、通信費、バスポート取得料等)、日本国内の交通費(自宅から最寄空港まで)、海外旅行保険の加入料(3,300円)をご負担いただいています。

3. 応募について

Q 応募締切日・時間を超えてしまいましたが、応募することは可能ですか?

A 「心連心ウェブサイト」の応募フォームを通じて受け付けているので、締切を過ぎてしまうと、ご応募いただくことはできません。必ず応募締切日11月18日(火)午前9:30までに送信してください。

Q 2次選考の面接は代表者だけでいいですか?

A 面接には、原則としてメンバー全員に出席いただき、企画の内容についてプレゼンテーションをしていただきます。チームの代表者は、メンバー全員で面接に臨めるようスケジュール調整をお願いします。

Q 倍率と前回の採用件数は?

A 大体5~10倍です。前回(2014年9月実施分)の募集では、沖縄キリスト教学院大学、宮城学院女子大学、武蔵野大学の3チームが採用となり、それぞれ延辺、広州、南京にて交流イベントを開催しました。過去の採用チーム・イベント内容については、心連心ウェブサイトにて公開していますのでご参考ください。

問合せ先

独立行政法人国際交流基金 日中交流センター 大学生交流事業係

住所:〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1 TEL:03-5369-6074/FAX:03-5369-6043/E-mail:fureai@chinacenter.jp